

朝から雪が降り続き、公園では雪の重みで折れた桜の枝が目立ちますが、冬の行事を楽しむながら、春の到来を待ちましよう。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

◆なにがなんだかわからない！

現在「錯覚展」を開催中です。錯視を利用した不思議な絵やオブジェで錯覚を体験できる展示です。児童生徒美術展の開催中だったこともあり、小中学生の見学も多く、説明すると純粋に驚いてくれる反応がとて新鮮でした。ボールがあり得ない動きをする「反重力すべり台」というオブジェがありますが、片目で見ると、ボールが坂を上っているように見える不思議なすべり台です。これを実演すると、「なんでー？」と驚く子もいれば、じつと見極めて何が起きているのか考えている子もいて、反応も様々です。あり得ない動きをするボールに、理屈がわかっていても頭がこんがらがって驚かざるを得ません。錯覚展については、3月5日に八海山麓ス



1月21日に開催された魚沼ベストショット展の作品解説会。展覧会は2月28日まで

キー場にて、世界初、雪の反重力すべり台を制作します。また、好評につき会期を1か月延長しました(3月27日まで)。この機会にぜひご来館ください。(広田かおり)

◆陶芸家の抹茶碗

イケビカフェではお抹茶がメニューに加わって今年で4年になります。昨年の夏からは冷抹茶も始め、好評をいただいています。二人の陶芸家の抹茶碗を使っています。一人は魚沼市の榎陶房の駒形悦子さんです。季節の草花をモチーフにした作品は、特に、女性のファンが多くいます。

もう一人は吉田明さんです。吉田さんは2005年に十日町に移住され、越後妻有の粘土層を発見し、その土を使った「妻有焼」の作品作りを始めました。08年にお亡くなりになりましたが、当館で11年と12年に個展を開催しました。抹茶碗の数々は、妻有の土を使った粉引きの他に、三島、刷毛目などの代表的な作品を揃えています。今年、奥様のご厚意で、新しく黄瀬戸茶碗が加わりました。「吉田明さんらしい茶碗」とのことです。陶芸家の手の温もりが伝わってくる器で、宇治茶100%の高級抹茶をお楽しみください。(佐藤良子)

◆共生または進化のありかた

専門家によると、ヒトの進化の過程ではウイルスが果たした役割もあり、また人はバクテリアなしでは生きていけないという。いまでこそ腸内フローラの重要性が言われ、日常

会話にも「菌活」や乳酸菌などの言葉が行き交う。

人間を外側と内側に分けると、体を覆う皮膚は外側と分かるが、実は口から肛門までの消化道や鼻・口から肺への呼吸道、生殖道、耳や目などはみな外側になるという。その表面にはバクテリアがビッシリとはりついているそう。動物はみなバクテリアで体をコーティングして、悪さをするウイルスや病原菌から体を守っているといえる。つまりバクテリアと人間は「共生」していることになる。無菌主義で消毒や殺菌をしすぎたり、抗生物質の多用はこのバリアーに穴を開けてしまい、かえって危険ともいう。

ウイルスは細胞に侵入し、遺伝子のDNA配列に影響を及ぼしてきたが、それなしには人間の進化もありえなかったらしい。研究者の一部では、乳酸菌を使ってウイルスが持っている表面のたんぱく質を変質させ、接触する細胞が感染できる細胞かそうでないかを認識できなくする研究をしているらしい。ウイルスとも共生する新たな進化となるのか。(岡西英孝)

◆しまった！

年末年始の美術館の休館に伴い、職員も長期にわたりお休みをいただきました。せっかくの長期休みなので何処かへ出掛けたいと思いましたが、娘は部活、やっと休みに入っても宿泊施設は年末年始料金でお高め、何処へ行っても混み混みと、結局、寝正月を過ごすこととなってしまいました。

たまには12月中旬に年賀状を書こうと思いましたが、思っただけになり、年を明けて慌てて書いた始末でした。ゆっくり過ごすにつれて次第に曜日感覚もなくなつて毎日ダラダラとしていたところ、体重計に乗ってびっくり！た、体重が……！休み後半は怖くて体重計に乗ることができなくなりました。年が明け、

仕事が始まり体重が戻る頃かと思いついてみたところ、やはり減つてはいませんでした。蓄積されてしまったお肉は戻ることなく今に至っています。この歳になると増やすことは簡単でも減らすことが難しいと痛感している今日この頃です。(山口加奈子)

◆開催予告②「交差する写真展」

雪見展が無事終わってホッとしていたところ、大雪に見舞われました。美術館周辺はあつという間に白い世界に変身し、魚沼らしい冬となりました。開催中の魚沼ベストショット展には、この季節をとらえた写真が何点も展示されているので、まだの方はぜひご覧ください。冬の雄大な風景や凜とした空気が背筋を伸ばしてくれるでしょう。

さて、予告第2弾となりますが、来年1月中旬から3月末までの期間、「交差する写真展」として、二つの写真展を同時開催します。一つは、7回目となる「魚沼ベストショット展」です。もう一つは、フジフィルムが創立80周年記念としてまとめた写真コレクションを展示する「日本の写真史に名を刻んだ101人展」です。この「101人展」は新潟県では初の開催となり、写真家、写真ファン必見の展覧会です。

二つの写真展が交差する場所ってどんな火花が散るか。魚沼の大地から新しい才能が生まれることを期待しているところです。(高橋良一)

錯覚展は3月27日まで



■魚沼ベストショット展 Part Ⅶ

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ ◎期間：2月28日(火)まで

県内外の写真家が、魚沼の変化に富んだ美しい自然、風景、暮らしを撮影した自慢のベストショットを出品する、魚沼賛歌の写真展。6回目の開催となり、ますます充実。写真家が愛蔵する往年の名機を展示した特別コーナーは必見です。

■〈冬季特別展示〉錯覚展—不可能立体の不条理世界—

◎多目的ホール ◎期間：3月27日(月)まで ※好評につき会期を延長しました

東大名誉教授、明治大学先端数理科学インスティテュート副所長の杉原厚吉特任教授が制作した、実際とは違ってしまう錯視立体を展示。本当のことがわかっていても、それとは別のものを見てしまう脳の不条理な振る舞いを体感してみましょう。

■坂西徹朗 版画展

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ ◎期間：3月3日(金)～4月4日(火)

魚沼市在住で、示現会と日本版画会に所属する版画家・坂西徹朗氏の個展。1984年に新潟県展に初出品・初入選したのち、16回連続入選を果たし、いまなお精力的に作品を制作しています。八海山や駒ヶ岳など魚沼の雄大な山々を木版画で大胆かつ繊細に表現した作品は評価が高く、自然への尊敬と愛情にあふれた展覧会です。

■〈冬季特別イベント〉世界初！ 巨大な錯覚すべり台がスキー場に出現！

◎会場：八海山麓スキー場特設ステージ ◎日時：3月5日(日)12時～15時

現在、美術館で開催中の「錯覚展」が大評判！新潟日報、読売新聞、NHKなどで紹介され、連日多くの来館者で賑わっています。好評につき会期を一か月延長しました。

さらに、展覧会の関連イベントとして、展示作品の作者、明治大学特任教授・杉原厚吉教授が設計した「反重力すべり台」を雪でつくり、3月5日の八海山麓ホワイト★カーニバル2017の当日、来場者の皆さんに大公開します。

大きさはタテ・ヨコそれぞれ10メートル。玉をころがすと、重力に逆らって坂を上っていくように見える驚きのすべり台です。今回の作品では、子どもたちが実際にソリですべることができるように制作しますので、「あれ？ どうして？ 子どもがソリで坂を上っていく！」という不思議な感覚にとらわれるでしょう。

杉原先生の指導のもと、地元住民の方々の協力を得て、3月3日午後からつくり始め、完成を目指します。錯覚作品の世界コンテストで優勝をはじめ何度も上位入賞している杉原先生が、雪を使った「反重力すべり台」に世界で初めて挑戦する特別イベントです。八海山麓スキー場に、はたしてどんな巨大な錯覚すべり台が出現するか目が離せません。多数のご来場をお待ちします。※新聞・テレビなど取材大歓迎です。

■書道講座 2月18日(土)10時～ 講師：佐藤海雲氏

■作品の見方(鑑賞) 小品から展覧会サイズまで

南魚沼塩沢産コシヒカリ好評発売中…2016年秋収穫の極上米！

※贈答品に最適。詳細は美術館へお問い合わせください。

◎音楽情報

■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」 ※参加無料です

2月12日(日)11:30～ ピアノ・フルート・ギター・ソプラノ

2月25日(土)14:00～14:15 小林啓子ミニコンサート

2月26日(日)14:00～ フォークソング



坂西徹朗「山は白銀」



坂西徹朗「越後駒ヶ岳 厳冬」



坂西徹朗「越後駒ヶ岳 春 縦走路から」



坂西徹朗「豪雪地帯 初夏」

■現在展示中の常設&収蔵品

小泉八雲文学資料室

スポーツ文化資料室

會津八一の書・ラゲザ玉の油彩画

雨宮一正の木彫・藪内佐斗司の彫刻

コヴァーチ・マルギットの陶芸

年間パスポートがお得です！

料金3,000円で発行日から1年間有効。初回申込特典①入館招待券3枚、②イケビカフェで利用できるコーヒーチケット2枚をプレゼント。

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3 (八色の森公園内)
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】9:00～17:00 (入館受付は16:30まで)
【入館料】一般 500円 高校生以下無料
【ホームページ】<http://www.ikedart.jp>

【2月の休館日】

※水曜日(1日、8日、15日、22日)

※28日(火)は最終日のため15時閉館